

連帯と共力の輪を広げよう

こいのにあ

KOINOWA

「こいのにあ」は、「交わり」という意味のギリシャ語です。

一麦福祉会とそれを支援して下さる方々との「交わり」が深められる場となることを願っています。福祉会への語りかけをお待ちしています。

第30号 2015年8月01日発行

一麦福祉会 〒347-0034 埼玉県加須市常泉 536-1

Tel: 0480 (65) 1759 <http://www.works-migiwa.com/>

## 「ワークスみぎわ」は20周年を迎えました

### 1. 一麦福祉会のあゆみ

96年7月に設立された「ワークスみぎわ」はこの7月1日、大勢の皆さまのお支えで開所20年目を迎えました。母体の「一麦福祉会」はそれに先立つ85年9月に設立委員会を開き、「基本理念」の下に小規模通所授産施設開設を目標に掲げ、86年6月、無認可施設「ワークハウスみぎわ」(定員6名)を開所しています。そして、熟考の末94年に社会福祉法人の認可を申請することを決めました。理念に照らすと、国の支援にすぎることには正に「後ろ手に縛られる」ことでしたが、施設の安定した存続を優先した苦渋の決断でした。95年9月、一麦福祉会は社会福祉法人として認可されました。

### 2. 「ワークスみぎわ」

同年11月、みぎわ新築工事に着工、96年5月現施設竣工、6月に「ワークスみぎわ」(定員20名)は認可され、7月1日に開所(利用者15名)に至りました。96年9月、第1回オープンハウスを行い(2000年4月の第3回から「春の木工屋さん」と改称)、97年5月には利用者が定員の20名になりました。06年1月隣接地を購入し、4月に店舗「まきば」が完成しました。その後の大きな変化としては、06年10月に「障害者自立支援法」が施行され、「みぎわ」は11年10月から同法に移行し、多機能型就労支援施設(就労移行支援、就労継続支援B型)となりました。

### 3. 留岡幸助と丹羽章前理事長

ご存知の方も多いと思いますが、丹羽前理事長は留岡幸助牧師の三女静さんの長男で、彼の孫になります。留岡幸助牧師については北海道家庭学校のHPから抜粋します。

『留岡幸助は、1864年、現在の岡山県高梁市に生まれ、留岡金助の養子となり、やがて勘当されながらも17歳でキリスト教の洗礼を受けました。同志社英学校(現在の同志社大

学)神学科で学んで牧師となり、1891年、北海道の空知集治監の教誨師(きょうかいし)となりました。そこで感化教育の必要性を強く感じ、監獄学研究のため渡米しました。その成果を具現化するべく、1899年、東京巣鴨に家庭学校を創設し、その後1914年には、50歳にして北海道家庭学校を設立しました。この働きのかたわら、内務省の嘱託として、地方改良事業についても積極的な提言を行い、国内でも重要な役割を果たしました。』彼は上記2校の他に、神奈川茅ヶ崎にも分校を作りました。茅ヶ崎分校は関東大震災で建物が倒壊したことから、1933年に閉校になりましたが、巣鴨本校は留岡幸助が死去した翌年の1935年、高井戸に移転の後、時代とともに推移し、少年保護施設、養護施設、そして児童養護施設「東京家庭学校」として現在に至っています。北海道家庭学校は1968年社会福祉法人となり、「小舎夫婦制」「自然の感化力」「三能主義」「流汗悟道」「難有」等の言葉で理念を明確にし、現在に至っています。丹羽前理事長の履歴書には1955年(19歳当時)の夏休みに北海道家庭学校で2ヶ月ボランティア奉仕をしたと記されています。

### 4. 「ワークスみぎわ」「グループホームわかぎ」

#### —— 一麦福祉会のこれから ——

一麦福祉会の運営に携わり、支える我々は適宜バトンを渡して交替して行きますが、法人としての一麦福祉会は利用者が安心して生活を継続出来るよう、長期的なスパンで将来を見据えなければなりません。その一環が今般の「グループホームわかぎ」の建設です。県への補助金申請手続きを終え、来年の夏に回答が内示されます。福祉予算が減額される中で、満額の補助金獲得はかなり難しいと言われていいますので予断を許さない状況ですが、その場合のことも覚悟の上、併行して人材確保等の準備に取り組みます。

従って、ここ数年の目標は「ワークスみぎわ」をこれまで通り運営しながら、17年4月に「グループホームわかぎ」を開設し、運営を軌道に載せることが第一となります。

冒頭で「後ろ手に縛られる」苦渋の決断と記しましたが、これは一麦福祉社会が掲げる「基本理念」に照らすと、常に意識の片隅に置いておかねばならない肝要な視点で、そのことを踏まえた上で基本理念を追求していくことが一麦福祉社会に携わる者の永遠の課題といえます。今回、丹羽前理事長を通して、留岡幸助牧師と一麦福祉社会の繋がりを辿ったのは、この流れ「志し」の中に、これからの方向性へのヒン

トがあると考えるからです。「縁」とも言えますが、色々な「志し」の繋がりの中に一麦福祉社会を位置づけることだと思います。保護者、支援者との人的な繋がり、地域・行政との繋がり、理念や志を同じくする組織・仲間との繋がり、これら一つ一つの繋がりを大事にし、繋がりの糸を一人一人が太くしていくことで、一麦福祉社会は様々な方向にシッカリと結びつき、堅固な基盤と発展の基礎を築くことになります。

この節目の時、一麦福祉社会の責任を負う者として、このように思われます。これからも皆さんの温かいご支援とご指導とを何卒宜しくお願い申し上げます。（おだにのりあき）

### 評議員・理事・監事の皆さんから

「ワークスみぎわ」20年の歩みを振り返り、「一麦福祉社会のこれまでとこれから」について、皆さまからご寄稿頂きました。

〔あいうえお順、敬称略〕

#### 丹羽章・聖業御夫婦の思いを受け取って

評議員:飯島亘子

「ワークスみぎわ 20 周年」授かった豊かな恵み、日々主に在る交わりに心から感謝を捧げます。丹羽章前理事長に導かれて「みぎわ」の皆様と繋がっている私。備えられたこの時に、この所に在って兄弟姉妹達と共に生かされていることの幸いを静かに受け留めています。山を越え、溪をわたり、雨風をしのぎ、心と体を寄せ合い歩んでこられた長い道のり、一人一人の心の内に触れる思いです。「一緒に暮らす子供達の、大きな笑い声が恵みです。そして未来へ繋がる大きな力です。」ある時、耳に残った言葉です。共に歩む仲間達へ主が指し示して下さいの行く道、幸多かれと祈ります。献品も業も、持ち合わせのあまりにも僅かな私の懐、見守って、寄り添って、手渡していくことの出来るく遠くからの手・近くからの手>が絶えることなく差し出され繋がりゆく事を願い祈ります。

#### 施設長として

理事:遠藤 博幸

一麦福祉社会が社会福祉法人として発足して以来、20 年の間に福祉事業の法制度は様々な変化がありました。まず措置制度から契約制度に切り替わり経営主体が多様化しました。そして「障害者自立支援法」の制定から「障害者総合支援法」へと引き継がれ今日に至っています。これに伴ってワークスみぎわも精神障がいを持つ利用者が増えたり、就労支援に力を入れるなど、利用者支援も多種多様化してきました。個々の利用者の特性を的確にとらえ、それぞれに合った支援を検討し実施すること、これはこの仕事に携わる私たちの永遠のテーマだと思います。私たちを取り巻く環境や制度が変わっても、創設者である丹羽さんの思い、一麦福祉社会の理念の下、「生の内容を豊かにすることのできる生きた場所」として、今後も利用者の支援を第一に考え運営していきたいと思っています。

#### ワークスみぎわと共に

理事:菊池 千代子

28 年前、息子が春日部養護学校中学生の時、PTA 活動で見学に来て初めて「ワークハウスみぎわ」を知りました。小さな平屋の作業所に 4〜5 人の利用生と 2〜3 人の職員で木工品の製作に励んでいました。利用生は明るくのびのびと作業に励み、製品はすばらしく、木のぬくもりを感じさせてくれました。そこにはゆったりとした空気が流れ、その時の感動は今でも忘れることができません。我が子が通うところはワークハウスみぎわの他にはないと思い、その日から入所を懇願し、中学部卒業時から通所が叶いました。息子はみぎわで仕事することを励みに片道 30 分の東武電車を利用して通い（8 年前、加須市に居住）現在に至っています。

私は、何か手伝いをお願い、週 1 回を目標にボランティアを続けてきました。その間、保護者会会長、社会福祉法人設立発起人、理事を経験し、職員としても 12 年間務め、大変長いお付き合いとなりました。社会福祉法人一麦福祉社会「ワークス

みぎわ」は、役員、職員そして保護者と共に設立し、協力し合って運営してきた施設です。法人設立に当たっては「請願書」を作成し、署名を集め、当時の理事長と共に数名の保護者が県庁へ提出に伺ったことを鮮明に覚えています。私たちは、「一麦福祉社会の理念及び基本方針」を目標に様々な行事を計画し共に歩んできました。日常の作業に加え、那須町の秋元農園での畑作業では、利用者・ボランティア・職員共に泥まみれになって草取りをし、収穫の喜びも味わいました。また、宿泊訓練、ブドウ狩り、いちご狩り、ハイキング等は利用者にとって大きな楽しみであり励みでした。

時の流れと共に法律が変わり、職員及び利用者の考え方も少しずつ変わりつつありますが、もう一度皆で「一麦福祉社会の理念」を振り返り、障害の内容や一人ひとりの目的が違っても互いに助け合って日々生きがいのある場を保っていきたいものです。また、計画中のグループホーム「わかぎ」も利用者・保護者の夢が叶い、建設予定地を購入することができました。現在、国補補助金申請の段階に入っています。完成まで、もう少し時間がかかりそうですが、実現する日を楽しみにしています。

### 排除ではなく受け入れる社会を

理事:小林 泰彦

私が常々感じることは、日本での「障害者」に対する無理解と、ある種好奇に満ちた“まなざし”にしばしば出会うことです。わずかながらの経験ですが、外国と比べても人々の「障害者」に対する反応・対応には大きな違いがあるように思います。これは“何かちがったもの”を排除しようとする村落共同体を基礎とする日本社会の成り立ちによるものかもしれません。他方、欧米社会はむしろ、より競争社会・実力社会であるがゆえに、逆に弱者に対する公平な意識が芽生えた結果なのかも知れません。感情的、生理的な反応だけでなく、この国では仕組みそのものが「隔離」を前提として出来上がっているようにも見えます。社会の弱者、ハンディキャップを持った人たちも、立派なその成員であるという前提に立った施策がとれない国は、決して上質な国とは言えません。「ワークスみぎわ」も利用生が社会の成員として立派に自立できるよう一層の努力が必要だと思います。

### 皆さんに期待しています

評議員:鈴木 由紀子

「みぎわ」との関わりは、娘が新井さんの時から仕事の合間にボランティアをし、その後、私が栃木市から度々通ってましたが、今は寄る年波でしょうか？会議の時のみ利用生の皆さんのお顔に会えるのが楽しみとなってしまいました。私とは違って利用生の皆さんは少年から青年へと体もしっかりし、仕事への頑張りにも成長の姿を感じて嬉しくなります。健康に気をつけて、出来ることへの努力は惜しまないで日々を暮らしてください。新人の指導員さんも丹羽先生の掲げられた基本的理念や活動(基本)方針に沿って、若さとパワーで製品のアイディアにも期待しますよ。ご活躍ください。

G ホームの計画も動き出しましたし、未来は明るいですね。関係者の皆様！「小麦の会」の年間の催しはいくつかあります。ご参加いただければ嬉しいです。

### 熱い思いを

理事:須藤 繁

記念の年に、みぎわの関係者の方々が揃って意見をこの紙面に載せて頂けるのは、私にとって大変楽しみなことです。理事として気を付けているとはいえ、関係者の全員のご意見を聞くことは到底困難なことから、この機会に色々なご意見をお聞きして、これからのみぎわの運営に反映できればと思っています。

どんな組織でもそうですが、その組織が設立の理念に忠実に運営できるかは、結局その組織を形作る「人」が、それぞれ設立の理念にどれだけ「熱い思い」を抱けるか、それが基本になります。みぎわの場合、お互いが単に事務処理として与えられた役割を果たすだけでは、死んだ組織になるでしょう。まずは、入所者やそのご家族の喜び、悲しみ、悩みによく耳を傾け、共感すること、また、そのことがお互い自然にできるようになること、そのことに私としても力を尽くしたいと思います。

### 隣人を自分と同じように愛する

評議員:松谷 信司(キリスト新聞社)

「ワークスみぎわ」20周年おめでとうございます。並みいる諸先輩方を前に、おそらく最も関わりの浅い者が筆をとるのは

誠に恐縮ですが、これまでの働きに敬意を表して寄稿させていただきます。弊社が発行する週刊紙「キリスト新聞」では、「提言・教会と地域福祉」と題する企画を1年以上にわたって連載しており、尾谷理事長を含め、多くの関係者から原稿を寄せていただきました。執筆者は、キリスト教系NPOの関係者をはじめ、施設職員、牧師や研究者など多岐にわたりますが、共通しているのはいずれの方々も切迫した「地域の求め」に応えて働いておられるということです。この世に遣わされた一キリスト者として、主に仕えると共に、身近な隣人を自分と同じように愛するための活動が、今後ますます必要になってくるのだと確信しています。尊いお働きに祝福と導きを祈りつつ、微力ながら皆様のお役に立てることができれば幸いです。

## 出合い

評議員:水書 マサ子

出合いって不思議ですね。20 年前、画家のYさんの誘いで、栃木の蔵でYさんの絵とみぎわの作品展があり、そこでかわいい製品と出合いました。あまりの可愛さに自分も作ってみたいくなり、栃木の方の車の後をついていったのが始まりです。数えきれない人とお会いしました。ボランティアを立ち上げ、気がつくといつのまにか理事になり、短いような長い時が過ぎていました。利用生のそれぞれの優しい顔、日頃の作業、那須の農作業、コンサート、木工屋さん、ぶどう狩り、みんなで助け合う精神にいつも感心していました。

又、元職員のTさんに「みぎわと出合っていなかったらお友達になっていなかったわね。」と言ったら、「いいえ違います。偶然ではありません。神様が出合うようにしてくれたのです。」との言葉に必然の引き合わせがあったことに感謝しています。これからも沢山の人の出合いを大切にしていきたいと思います。

## ワークスみぎわの 20 年を振り返って新たなスタートにエールを送る

監事:長谷川 良則

麦福祉会 20 周年、誠におめでとうございます。私とワークスみぎわとの関わりは、税理士としてまだスタートしたばかりの今から 20 数年前、加須市のはずれにワークハウスみぎわが建ち上がって間もないころです。新井定夫氏の会社の顧問税理士の時、ワークハウスみぎわを社会福祉法人化する際に、監事のうち一名は会計専門家でなくてはならないという条件のためにご依頼を受けました。以来、20 年間会計監事として職務に尽かさせて頂いております。設立当初から透明性の高い運営がなされており、県の行政指導も大きな問題もほとんどなく指導を受けた記憶がありません。偏に前理事長丹羽章先生の法人運営の賜物と敬意を表する次第です。ワークハウスみぎわの時代から続いて就労している方もいると思いますが、施設の指導員、職員の適切な指導とアットホームな運営が、あってこそで、大変なご努力と思っております。

障害者自立支援法の施行と同時に障害福祉については、行政の取扱いが厳しくなる一方で施設運営に支障が出るケースも多々考えられるのが、現状ではないでしょうか？こうした中でもワークスみぎわは、法令を遵守し、大変意義のある運営がなされていると感心しております。尾谷新理事長、職員一丸となって新たな法人運営に尽力していただきたいと思います。生活支援ホームの運営が計画されていると聞いておりますが、新事業も早期のうちに安定するようご協力させていただきます。

## 「ワークスみぎわ」20 周年を覚えて

元顧問:丹羽 聖業

過ぎ去ってみると 20 年は一瞬です。みななつかしく、苦しかった事は忘れてしまう様です。開所式を思い出すと、建ったばかりの片屋根風の「みぎわ」は畑の真中で四方からよく見えました。名も木影もない小さな雑木が一本残されましたが、今は大きな樹です。当日「どろぼうサンタ」が、やさしい信志君のお話として「こぐま社」から記念出版されました。横浜からコーラスのメンバーがかけつけてくれ「日本の四季」を利用生と一緒にうたいました。これが利用生初の歌声でした。コーラス演奏会の時はフェリス、ホールの玄関を「みぎわ」の製品売場として提供、15 分の休憩時間に「今年の新作品はどれ？」とファンの方々が楽しみに買ってくれました。

「みぎわ」を支えて下さる多くの方々との出合いを思いおこします。共に生かされているとの共通の喜びに溢れていること、これがこれからの「みぎわ」を支えつづける原動力と信じています。

※紙面の都合で全員の原稿を載せることが出来ませんでした。また原稿の一部を割愛致しました。ご了承をお願いします。

## 2014年度一麦福祉社会・一麦運営協力会会計収支報告

社会福祉法人一麦福祉社会資金収支計算書(2014年4月1日～2015年3月31日)

| 勘 定 科 目               |                 | 合 計         | 本 部        | 就労支援事業     |
|-----------------------|-----------------|-------------|------------|------------|
| 事業活動                  | 就労支援事業収入        | 4,107,770   | 0          | 4,107,770  |
|                       | 障害福祉サービス等事業収入   | 45,753,467  | 0          | 45,753,467 |
|                       | 借入金利息補助金収入      | 94,500      | 0          | 94,500     |
|                       | 経常経費寄付金収入       | 12,347,030  | 10,500,000 | 1,847,030  |
|                       | 受取利息配当金収入       | 70,837      | 1,358      | 69,479     |
|                       | その他の収入          | 1,043,786   | 0          | 1,043,786  |
|                       | 人件費支出           | 35,952,017  | 0          | 35,952,017 |
|                       | 事業費支出           | 4,213,382   | 0          | 4,213,382  |
|                       | 事務費支出           | 4,021,140   | 412,041    | 3,609,099  |
|                       | 就労支援事業支出        | 4,460,980   | 0          | 4,460,980  |
|                       | 支払利息支出          | 126,000     | 0          | 126,000    |
|                       | 事業活動資金収支差額(1)   | 11,779      | △84,628    | 96,407     |
| 施設整備                  | 固定資産売却収入        | 0           | 0          | 0          |
|                       | 設備資金借入金元金償還金支出  | 2,000,000   | 0          | 2,000,000  |
|                       | 固定資産取得支出        | 2,072,000   | 2,072,000  | 0          |
|                       | 施設整備等資金収支差額(2)  | △4,072,000  | △2,072,000 | △2,000,000 |
| その他                   | 投資有価証券取得支出      | 281,930     | 0          | 281,930    |
|                       | 積立資産支出          | 10,376,480  | 1,000,000  | 376,480    |
|                       | 過年度収支修正支出       | 35,840      | 0          | 35,840     |
|                       | その他の活動資金収支差額(3) | △10,694,250 | △1,000,000 | △694,250   |
| 当期資金収支差額合計(1)+(2)+(3) |                 | △122,379    | △1,982,683 | 1,860,304  |

社会福祉法人一麦福祉社会貸借対照表(2015年3月31日現在)

| 資 産 の 部     |             | 負 債 の 部         |             |
|-------------|-------------|-----------------|-------------|
| 科 目         | 残 高         | 科 目             | 残 高         |
| 流動資産        | 31,815,939  | 流動負債            | 2,877,024   |
| 現金預金        | 19,968,872  | 事業未払金           | 521,524     |
| 事業未収金       | 7,416,383   | その他の未払金         | 0           |
| 未払金         | 0           | 一年以内返済予定設備資金借入金 | 2,000,000   |
| 商品・製品       | 3,968,700   | 預り金             | 136,080     |
| 原材料         | 408,171     | 職員預り金           | 219,420     |
| その他流動資産     | 53,813      |                 |             |
| 固定資産        | 145,075,627 | 固定負債            | 3,040,200   |
| 基本財産        | 114,745,208 | 設備資金借入金         | 0           |
| 基本財産土地      | 56,232,031  | 退職給付引当金         | 3,040,200   |
| 基本財産建物      | 57,513,177  | 負債の部合計          | 5,917,224   |
| 基本財産特定預金    | 1,000,000   | 純 資 産 の 部       |             |
| その他固定資産     | 30,330,419  | 基本金             | 87,405,919  |
| 機械及び装置      | 30,414      | 国庫補助金等特別積立金     | 38,866,494  |
| 車両運搬具       | 665,613     | その他の積立金         | 21,302,999  |
| 器具及び備品      | 137,083     | 移行時特別積立金        | 4,700,000   |
| 建設仮勘定       | 2,802,846   | 運転資金積立金         | 6,402,999   |
| ソフトウェア      | 189,000     | 工賃変動積立金         | 200,000     |
| 投資有価証券      | 2,162,264   | 建物等建築準備積立金      | 10,000,000  |
| 退職給付引当資産    | 3,040,200   |                 |             |
| 移行時特別積立資産   | 4,700,000   | 次期繰越活動収支差額      | 23,398,930  |
| 運転資金積立資産    | 6,402,999   | (うち当期活動収支差額)    | △1,757,075  |
| 工賃変動積立資産    | 200,000     | 純資産の部合計         | 170,974,342 |
| 建物等建築準備積立資産 | 10,000,000  | 負債及び純資産の部合計     | 176,891,566 |
| 資産の部合計      | 176,891,566 |                 |             |

一麦運営協力会会計収支 (2014年1月1日～2014年12月31日)

|        |           |          |           |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 一麦基金繰入 | 1,035,796 | 会費または寄付金 | 3,508,944 |
| 施設援助金  | 2,020,030 | 利子       | 95        |
| 事務費支出  | 8,850     | 雑収入      | 376,758   |
| 事業費支出  | 821,121   | 収入合計     | 3,885,797 |
| 支出合計   | 3,885,797 | 収支残高     | 0         |

みんなで持ちよれば、ささやかな希望もあふれる希望。小さな夢も無限の夢。



2014年7月1日～2015年6月30日までに、運営協力会費または寄付金、物品をお寄せくださった方々、ボランティアで労力の奉仕をしてくださった方々のお名前です。ご支援、ご協力をありがとうございました。

青山 充英 様  
あけぼの園 様  
浅野 のぶ子 様  
アジア学院 様  
荒井 玄悟・初音 様  
荒井 朋子 様  
新井 由美子 様  
飯島 亘子 様  
井草 和子 様  
池田金型工業(株)  
池田 次夫 様  
井上 建二 様  
井上 修 様  
石毛 綾子 様  
井手 幸男 様  
伊豫田 純彦・しのぶ 様  
岩川 靖子 様  
内田 栄司 様  
宇都木 伸 様  
梅田 誠 様  
税理士法人英智  
長谷川 良則 様  
遠藤 寿代 様  
大隅 温 様  
大澤 英一 様  
岡部 弘子 様  
小倉 信夫 様  
尾谷 則昭 様  
尾谷 アイ子 様  
落合 美子 様  
小野寺 ほさな 様  
カーちゃん食堂 様  
柿沼食販 様  
加須地区  
更生保護女性会 様  
金杉 保枝 様  
金丸 琢美・淑子 様  
川股 忠・京子 様  
菊池 千代子 様  
久保島 和市・禎子 様  
黒坂 恵美子 様  
黒田 泰子 様  
(株)こぐま社 様  
小林 隆雄 様  
小林 恒雄 様  
小林 泰彦・千寿恵 様  
小堀 朋子 様  
金野 柳一 様  
佐々木 光香 様  
佐藤 潤 様

笹原 捷夫 様  
幸手桜高等学校 様  
佐藤 幸一 様  
佐藤 大輔 様  
佐藤 英和・志奈子 様  
佐藤 淑子 様  
沢崎 玲子 様  
サンライズクリニック  
盛川 宏 様  
しずくの会  
石井 喜久子 様  
しのはら歯科医院  
篠原 真 様  
島野 葉子 様  
清水 佐知子 様  
下邑 裕子 様  
須加 茂夫 様  
鈴木 道子 様  
鈴木 俊昭・由紀子 様  
鈴木 寶三 様  
鈴木 良子 様 (栃木県)  
須藤 繁・道子 様  
スナックやまね 様  
誠和福祉高等学校 様  
荘 杏子 様  
鱒 カズミ 様  
高木 クリーニング店 様  
竹内 亮裕 様  
田中 順 様  
谷川 寿寿子 様  
田ノ下 千鶴子 様  
田部 郁彦 様  
茅根 愛二 様  
津久井 菱子 様  
角田金物店 様  
つばみ幼稚園 様  
寺本 道郎・光世 様  
(株)デザインコンビビア 様  
東京歯科クリニック  
大久保 道子 様  
CCJ小山教会  
日曜学校 様  
CCJ 郡山伝道所 様  
CCJ 東京告白教会 様  
CCJ 古河伝道所 様  
CCJ 鶴見教会 様  
CCJ 鶴見教会婦人会 様  
CCJ 東京主僕教会  
日曜学校 様  
CCJ 栃木教会  
つむぎの会 様  
CCJ 栃木教会  
日曜学校 様  
CCJ 南浦和教会 様

トミー精工 様  
留岡 薫 様  
トライアングル 様  
中家 盾・由布 様  
長岡 新吉 様  
中里 威 様  
中村 弘明 様  
中村 淑江 様  
西 俊幸・とき子 様  
西田 敏雄・すず子 様  
西村材木店 様  
丹羽 聖業 様  
根岸 和也 様  
長谷川園芸 様  
長谷川 恵子 様  
長谷川 拓也 様  
長谷川 雅之 様  
平林 秀樹 様  
フェリス女学院同窓会  
東京支部 様  
深谷 百合子 様  
藤倉 沖子 様  
藤森 良雄・恵美子 様  
芙蓉 民子 様  
平和自動車工業 様  
本田クリニック  
本田 和正 様  
増田 茂次 様  
鱒淵木工所 様  
増山 博 様  
松元 宏康・恵美 様  
水書 マサ子 様  
水谷 重男・啓子 様  
水深小学校 様  
三宅 千恵子 様  
宮坂 育子 様  
宮崎 邦子 様  
靱井 佐由美 様  
森 静江 様  
森 直 様  
森田 しのぶ 様  
八百茂商店 様  
安 みぎわ 様  
梁島 ケイ子 様  
山田 智子 様  
ワークスみぎわ  
保護者会 様  
渡邊 榮子 様  
渡邊 司 様  
渡邊 全一・茂子 様  
※CCJ=日本キリスト教会